

# 令和4年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

## 第3学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<p>【知識・技能】</p> <p>1学期の達成率は、65%であった。漢字の読み、書きの習得及び、国語辞典の活用、音読み、訓読みの区別の理解に課題がある児童が多い。こそあど言葉については、理解を深めている児童が多く、文章中にも活用できている児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み、書きについては、1, 2年の内容も含め、文章中で書いたり、プリント等で補充をしたりして、さらなる定着を図る。</li> <li>漢字ノートに練習する際に、漢字の読みを書く習慣付けをし、音読み、訓読みの使い分けをし、活用できる力を培っていく。</li> </ul>
社会	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>1学期の達成率は67%であった。問題に対して、自ら調べたりグループで話し合ったりしながら解決することにすすんで取り組んでいる。一方で、まとめのガイドマップ作り等では、特色は大まかに書けるが、具体的に書いたり自分の考えを表現したりするのに難しさを感じている児童も多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題やまとめで自分の考えを表現する際には、まとめる前段階としてグループや話し合い活動の時間を十分にとることで、様々な意見や考えに触れ、考えの幅を広げる手だてをとっていく。また、キーワードの言葉を提示することで、表現する際に活用しやすくする。</li> </ul>
算数	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>1学期の達成率は、89%であった。簡単な問題文から立式する力が身に付いている。一方で難しい問題文を読み解き、正しく立式したり課題解決したりすることに課題のある児童が多い。また、問題解決の際、筋道を立てて計算の意味や仕方を説明することが難しい児童が一部いる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を見て答えをすぐ出すのではなく、既習事項を用いて多面的に思考をしていく事を繰り返し指導していく。また、他人の考え方を聞き、自分自身の考え方にも取り入れることで、多様な表現方法が身に付くように指導を重ねていく。</li> </ul>
理科	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>1学期の達成率は87%であった。生き物や実験に興味をもってすすんで取り組んでいる。一方で、観察カードに記録をする際、視点がずれていたり、細やかな部分まで観察できていなかったりする児童が多い。実験等においては、3年生から始まったこともあり、理科の問題解決の学習の進め方がまだ十分に身に付いていない現状もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察カードをかく際には、見る視点を明確にし、全体で確認してからかくように指導する。</li> <li>理科の問題解決の学習の進め方については、仮説や考察の考え方や表現の仕方の例を提示し、記録に書きやすいように配慮する。また、少人数で話し合う活動を通して、より考えを明確にできるよう積み重ねていく。</li> </ul>
体育	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>各種の運動の中で、自身やクラスの課題を見付けることができる。一方で、課題解決に向けて工夫して運動に取り組むことは難しい児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット等を活用して目標となる動きを具体的に例示し、全員が目標となる動きの具体的なイメージをもって、課題に取り組むことができるようにする。</li> <li>自分自身の動きと手本となる動きを客観的に比べてみる活動を通して、自らの課題を確認できる機会を設定する。</li> </ul>